

あきのおいもほり

12がつ おもちつき



FUDDOKINOOKA

さく・え

かとうようじ
たかいちみう

あきのおいもほり

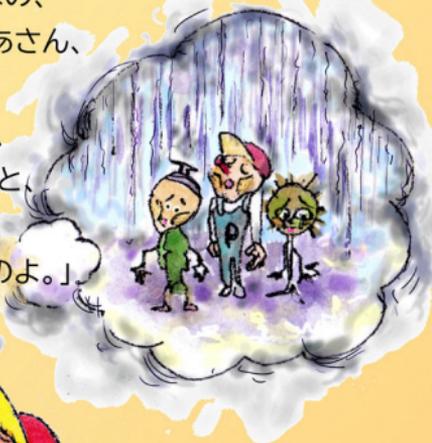


「こんなの、きらーい！」

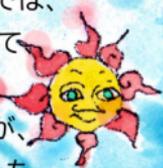
ぴのくんたち、おべんとうの、じかに、
のこしたり、こぼしたり、たちあがったり、
「まあ、なんて、かっこわるいんでしょう！」
れんこせんせいが、かおをしかめます。

「たべものは、みんなの、
おとうさんや、おかあさん、
つくってくれるひと、
はこんでくれるひと、
はたらいってくれるひと、
みんなの、おかげで、
やっと、たべられるのよ。」

「それに、ちゃんと、
たべなかったり、
すきなものしか、
たべないでいると、
からだも、あたまも、
こころも、よわくなって、
びょうきになったり、
わるいことに、なるのよ。」



そのころ、まどのそとでは、
はるのひかりを、あびて
の一みんが、つちを、
たがやしているのが、
みえました。



いっしょけんめい、さつまいものなえを、
うえる、じゅんぴを、しているのです。

「たいへんそうだなあ。」もりのなかまたちは、
の一みんのようすをみて、おもいました。
そして、くさぬきや、みずやりを、
てつだうことにしました。

「たべものを、つくるのは、たいへんなんだなあ。」
「でも、つちにさわると、きもちいいね。」
「しんどくても、みんなで、がんばると、
たのしいね！」みんな、それぞれに、いいました。



ためしよみ

は

ここまでです